

## 第3学年3組 英語活動案 (総合的な学習)

平成17年10月28日(金)第4校時

### 1 題材名 ハロウィンを楽しもう

### 2 題材の目標

- ・ハロウィンについて知り，ゲームなどを通して世界のお祭りや文化に興味を持つ。
- ・ハロウィンキャラクターの名前やほしいカードの言い方や答え方を知り，進んで使おうとすることができる。
- ・進んで話す相手を見つけ，英語を使ってコミュニケーションを楽しむことができる。

### 3 題材について

#### (1) 題材のテーマについて

- ・本校では，基礎基本の確かな定着をめざして一人一人を伸ばす授業づくりに取り組むことを研究主題に設定している。基礎基本とは，生きる力のもとになる学力である。その中の一つに表現力があり，互いに伝え合う活動も重視している。総合的な学習の時間を中心に行う国際理解学習でも，単に英語の話し方を覚えるというのではなく，公用語としての英語活動を通して，世界のいろいろな文化や生活習慣に触れることをねらいとしている。また，外国の人に限らず周りのいろいろな人々と進んでコミュニケーションを図り，進んで人とのふれあいを楽しむことのできる児童の育成も目標としている。
- ・コミュニケーション能力の向上のためには，まずは自分から相手を見つけ，話をしようとするのが大切である。たくさんの友達と話し，聞き合うことで相手を知り，自分とは違う相手を認め尊重することができると思う。そのため，お互いを知るコミュニケーションの場を多く設定し，みんなで楽しく活動できる題材を考えた。
- ・ハロウィンは外国で多くの人たちが楽しみにしているお祭りである。キリスト教では，11月1日をすべての聖人の誕生を記念する日「万聖節」とし，10月31日はその前夜祭に当たりハロウィンを祝う。「万聖節」の日には先祖の霊とともに魔女やお化けが出てくると信じられており，昔はそれらを追い払うためハロウィンの夜には，大人たちが仮装していたが，今は子供たちが中心になっている。子供たちが仮装して，“Trick or treat”(お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ!)と言って近所のドアをノックすると，いたずらされたくない近所の人たちは子供たちにお菓子をくれる。  
このようなハロウィンは1年に1度のわくわくする待ちに待っているお祭りである。ハロウィンを迎えるために，コスチュームを事前に作ったり，ディスプレイのためにパンプキンをくり抜いてジャコランタン(おばけちょうちん)を作ったりと，ハロウィンのための準備は，子供にとっても大人にとっても楽しみの一つなのである。  
このハロウィンを学級のみならずALTと一緒に楽しむことは，日本とは異なる世界の文化や生活習慣に自然と触れることになる。簡単な仮装小物を身につけ，本当にお菓子ももらうのである。このことは児童の興味をかき立て，意欲的に活動に参加できるものとなるであろう。また，この活動をより楽しむためには，コミュニケーションは欠くことのできないものとなる。

このように，「ハロウィンを楽しもう」は児童が楽しく活動したり，進んコミュニケーションをとったりするのに有効であると考えられる。

(2) 題材の構成

ハロウィンを楽しもう (2時間) 本時 2 / 2	
題 材	主 な 言 語 材 料
ハロウィンキャラクターゲットゲーム & Trik or treat! ・・・1時間	I want a (witch) No, I'm sorry. O.K. Here you are.
モンスターバスケットを楽しもう ・・・1時間 (本時)	What do you want to be? I want to be a (witch)

4 児童について 男子17名 女子23名 計40名

明るく素直な児童が多い。3年生でクラス替えをし新学級となった。1学期に男女1名ずつ、2学期に女子1名いずれも県外からの転校生を迎えているが、うち解けて仲良く話したり、遊んだりする様子が見られる。相手に伝わるように話すことを大切にしているが、発表の声が小さかったり、自信を持って自分の思いや考えを表せない児童もいる。

英語活動については、多くの児童が楽しんで取り組んでいる。英語の歌を簡単な振りをつけて歌ったり、ペアワークやゲームを通してコミュニケーションを楽しんだりしているが、ペアワークでは、仲の良い友達とは話せても、誰とでも進んでコミュニケーションをとることができない児童もいる。

これまでの活動では、簡単なあいさつやじゃんけんゲームをした。また、I like ~. や What do you like ~. を使って好きなくだものや動物や色などについて話している。I want a ~. What do you want to be? I want to be a ~. は初めての言語材料と言える。

ハロウィンにちなんで、昨年のALT訪問では体の部位の練習の発展で独創的なモンスターを作り大いに盛り上がった。またALTの先生からは素敵なハロウィンカードをプレゼントしてもらった。これらの経験を生かし、今回の「ハロウィンを楽しもう」を充実したものにするために、ハロウィンとは何か、日本の行事で似ているものはどんなものがあるか、などについて自分なりに事前に調べて活動に入らせたい。

5 指導について

・表現力を高めるために

表現することへの抵抗感を減らすためには、大きな声で話すことに慣れることが大切であると考え。英語活動の時間だけでなく、歌や簡単なあいさつは朝の会・帰りの会などにも取り入れ、大きな声で言ったり反応したりできるよう言葉がけをして、児童に意識を持たせることを続けている。また、言語に合うジェスチャーをつけたり、リズムにのってチャンツ風に話したりすることを取り入れている。これらのことは楽しさを体感するとともに、対話への意欲向上の助けとなっている。また、同じ言語材料を少しずつ違った表現に変えて繰り返し使うことが効果的である。本題材では基本的な動詞である「want」で統一しI want a ~. に to be を加えて What do you want to be? I want to be a ~. で構成している。また、自信を持ち思い切り表現できるようにするために誉めることが何よりも効果があると考え。できるだけ、一人一人の良いところを見つけ認めることで、児童の表現への意欲を高めていきたい。

・コミュニケーションな場面を設定するために

前時では、ALT の話でピーター先生からカナダの子供たちも楽しみにしているハロウィーンについて話してもらい、イメージをふくらませることができた。また、HRT や ALT が授業の途中で仮装コスチュームに着替えて登場することでより興味をかき立てることができた。また、ハロウィーンキャラクターのカードが5枚そろそろと自分も簡単に仮装し、Trick or treat! と言って実際にお菓子をもらうという場面を設定した。そして、前時で親しんだキャラクターの中から、自分は何になりたいかという気持ちを高めて本時へとつなげていくようにする。本時では、「何になりたいの」「                      になりたい」というやりとりによって繰り返しゲームが展開されていく。単に英語の言語を覚えて話すのみではなく、このようにコミュニケーションな場面を設定することにより、児童がより生き生きと活動できるようにした。

・コミュニケーション活動を楽しむために

進んで相手を見つけ、いろいろな友達と話したり自分の思いを伝えたりできるように、前時ではできるだけ多くの友達と話す場面をつくるためにペアワークを中心に活動を行った。そして単に5枚違ったハロウィーンキャラクターのカードを集めるのではなく、前後のあいさつや自分がほしいカードを相手にしっかり伝え、それに対して持っている場合は「はいどうぞ」持っていない場合は「ごめんなさい」という言葉やカード交換の時の「ありがとう」「どういたしまして」といった言葉を大切に、コミュニケーションを楽しむようにした。これらは言葉は短くても相手に対する「尊敬の念」を伝えると同時に自らの「開かれた心」を伝えることができる。それらがあって初めて、心と心を結ぶ豊かなコミュニケーションになるものと考えた。

本時では、このようなペアワークの経験を生かし、クラス全員で活動でき子供たちも大好きな「モンスターバスケット」を行うことにした。子供たちが普段慣れ親しんでいるゲームも What do you want to be? I want to be a~. などの言語材料をリズムよく使うことによって、より新鮮に取り組めるようにしたい。また、多くの友達の前でも自分の思いを伝えることによってさらに自信を深めさせたい。聞き手としても「                      さんはあのキャラクターになりたいのか」と相手の思いを認め尊重する気持ちを育てていきたい。

成和中学校では、1年生でコミュニケーションをさせると抵抗感がない生徒が多く、小学校の英語活動の成果を実感しているということである。本時でも、間違いを恐れずに自分のことを表現しようとする気持ちや何とかして相手のことを聞こうとする態度を育てたい。また、中学校の活動では、男子は男子、女子は女子同士になりがちであるとのことである。そこで、男女隔てなく誰とでも仲良くコミュニケーションできるようにしたいと考える。

6 本時の目標

- ・どんなハロウィーンキャラクターになりたいかの尋ね方や答え方を知り、使おうとすることができる。
- ・進んでアクティビティに参加し、コミュニケーションを楽しむことができる。

7 準備物

歌の CD ハロウィーンキャラクターの絵カード ハロウィーンの飾り 児童用椅子

8 展開

活 動 の 流 れ	教師の支援(・)と評価( )
<p>1 あいさつ</p> <p>2 歌「Hello song」</p> <p>3 ハローウィンクイズ ハローウィンは何日？ スペリングはどれが正解？ 1 Halloween 2 Halowin 3 Halloween など</p> <p>4 ハローウィンキャラクターの名前のおさらい witch,black cat,bat, jack-o'-lantern, vampire,ghost,spider,skeleton,mummy</p> <p>5 モンスターバスケットゲーム ・ゲームの説明を聞く。</p> <p>・ゲームに出てくる会話をチャンツ風に練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What do you want to be? I wan to be a (bat.) I'm a (bat.)</p> </div> <p>6 終わりのあいさつと歌 「Good bye song」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なあいさつをし緊張をほぐすようにする。</li> <li>・1番はペアで，2番は教師の方を向き動作も入れて会話風に歌い楽しい雰囲気を作る。</li> <li>・クイズを通して，事前に各自が調べたハローウィンのことや前時のALTの話について思い出させ，本時につなげるようにする。 興味を持ってクイズに答えることができたか。</li> <li>・カードの絵を裏返しにしてクイズ形式で当てるようにし，全部のキャラクターの言い方のおさらいができるようにする。</li> <li>・オニが円の中央に立ち「I want to be a bat.」のように言う。オニが言ったカードが自分の席のカードのどちらかと一致した児童は「I'm a bat.」のように言いながら席を立ち他の空いた席に移動する。「Monster basket!」で全員が移動することができることなどのルールの説明をする。</li> <li>・What do you want to be? I want to be ~の言い方を後に続けて繰り返し練習し，言えるようにする。</li> </ul> <p>進んでゲームに参加し，尋ねたり答えたりすることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業で良かった点をほめる。</li> <li>・楽しい雰囲気です歌うようにする。</li> </ul>